Ｂ社提案計画概要

１　事業計画の基本方針

大型スーパーマーケットを核として、日常の買い物を通じた交流や見守り、地域活動、子育て支援、防災機能などを備えた地域拠点を整備する。「いつもの買い物が、見守りになる。」をコンセプトに、日常と防災が一体となった、長期にわたり地域に根差す施設の実現を目指す。

２　地域との連携・周辺環境への配慮

豊照地区コミュニティ協議会との協定に基づき、実施設計段階から地域の意見を反映するとともに、開店後も定期的な地域ミーティングや防災訓練、地域イベント等を通じて継続的な連携体制を構築する。また、解体・建設工事においては、騒音・振動・粉じん等への事前対策、通学時間帯の搬出入制限、近隣住民への周知、安全管理を徹底するとともに、苦情対応窓口を設置し、周辺環境への影響の低減に努める。

３　防災機能の確保

2階に300㎡以上の一時避難スペースを確保するほか、非常用発電機、停電対応型GHP、給水設備、炊き出し設備等を整備し、災害時の電力・空調・水・食事等の確保を図る。また、駐車場の活用や企業・団体との連携により、避難者の受入れや支援機能の充実を目指す。

４　地域交流・活性化の取組

2階の交流デッキや室内交流スペースを活用し、親子や高齢者などが日常的に集える場を創出する。料理教室や防災食講座、地域マルシェ、空き家相談会等の開催に加え、移動販売による高齢者の買い物支援・見守り、地域の歴史を伝える街歩き拠点、空き家・移住相談などに取り組み、地域コミュニティの形成と地域価値の向上を目指す。